

愛知学院大学歯学部倫理委員会

平成 29 年度第 4 回会議 次第

平成 29 年 11 月 2 日（木） 15 : 00～

I. 報 告

1. 平成 29 年度第 3 回倫理委員会議事録（案）（平成 29 年 9 月 7 日）
2. 持ち回りの審査結果について（1 件）
3. 修正の上承認（委員長決済）について（5 件）
4. 研究等終了（中止）報告書（1 件）
5. その他

II. 協 議

1. 新規申請の審査（5 件）
2. 前回審議「その他（保留（継続審議）」（1 件）申請題の確認と承認
3. その他

平成29年度愛知学院大学歯学部倫理委員会委員名簿

◎委員長 ○副委員長

	氏名	所属等	委員区分(選出母体)	任期
	本田 雅規	口腔解剖学講座教授	規程第4条(1)基礎系講座専任教員	28.4.1-30.3.31
	池田 やよい	解剖学講座教授	〃	28.4.1-30.3.31
	戸 莉 彰 史	薬理学講座教授	〃	28.4.1-30.3.31
○	前田 初彦	口腔病理学講座教授	〃	28.4.1-30.3.31
◎	千田 彰	保存修復学講座教授	規程第4条(2)臨床系講座専任教員	28.4.1-30.3.31
	武部 純	有床義歯学講座教授	〃	28.4.1-30.3.31
	原田 純	麻酔学講座教授	〃	28.4.1-30.3.31
	松原 達昭	内科学講座教授	〃	28.4.1-30.3.31
	高木 敬一	愛知学院大学法学部教授	規程第4条(3)学識経験者	28.4.1-30.3.31
	黒神 聰	元愛知学院大学法学部教授	〃	28.4.1-30.3.31
	柿田 憲広	金城学院大学非常勤講師	規程第4条(4)一般人	28.4.1-30.3.31
	鏡山 典子	愛知教育大学教育・研究支援部 学生支援課 嘱託職員	〃	28.4.1-30.3.31

平成29年度 第4回歯学部倫理委員会
インターネット公表一覧

1	実施責任者	原田 純
	研究課題	口唇口蓋裂患者に対する麻酔前投薬の経口投与と経鼻投与の比較検討
	概要	全身麻酔において小児症例では手術に対する強い不安を軽減し、手術という特殊な環境に置かれた患児を精神的な外傷から守るため、麻酔前投薬として鎮静薬が投与される。鎮静薬はベンゾジアゼピン系鎮痛剤であるミダゾラムが一般的であり、これまで筋肉注射による前投薬が行われてきたが、筋肉注射自体が大きな侵襲となるため、新たな投与方法が検討されてきた。筋肉内注射に変わる方法として、日本全国の多くの小児病院では適応外使用ではあるものの、ミダゾラムの経口投与が行われており、その有用性と安全性は確立されている。しかしながら、ミダゾラム経口投与時の問題点としては苦味があげられる。そこで本研究では経口投与に変わる方法として、粘膜から吸収が早く効果発現時間の短縮が期待できるミダゾラムの経鼻投与を、低年齢患者の多い口唇口蓋裂手術で麻酔前投薬として使用し、経口投与に対する経鼻投与の優位性について比較検討することとした。ミダゾラムの経鼻投与方法は、本学歯学部小児歯科福田教授らが報告している方法に則る。
2	実施責任者	公表不可
	研究課題	公表不可
	概要	公表不可
3	実施責任者	渡邊 哲
	研究課題	閉塞性睡眠時無呼吸症患者における顔面骨格、咽頭形態の検討
	概要	公表不可
4	実施責任者	宮地 斉
	研究課題	顎矯正手術の術後出血量に関連する因子の検討
	概要	公表不可
5	実施責任者	佐久間 重光
	研究課題	口腔領域への一過性および持続性疼痛刺激時における前頭葉血流動態の評価
	概要	公表不可